



StuDX Style



GIGAスクール構想を浸透させ 学びを豊かに変革していくカタチ

特設ウェブサイト「StuDX Style」に掲載している事例については、有償ソフト等を必要としない、汎用的な機能を活用したものとなっています。そのため、全国の学校において参考とすることができます。

今回、示した「StuDX Styleを活用したミニ研修例」については、各学校で研修が実施できるよう、それぞれ20分程度でできるような内容とし、1グループ4名程度で意見交換を主とした研修としています。学校においてICT活用に先進的に取り組まれている方がいなくても研修ができるよう、研修に必要な資料等も掲載しています。

一方で、今回紹介しているミニ研修はあくまで一例であり、この内容や手法、順序、時間等に縛られることなく、各学校や子供の実態に合わせて研修をアレンジし、随時、改善を図っていくことが大切です。各学校において、ICT端末のより良い活用・実践につなげていきましょう。

全体の流れ（全5回、1回あたり20分程度）

	研修のゴール	研修の内容	流れ	ワークシート	資料
第1回	GIGAスクール構想の趣旨や、ICTを活用する目的・必要性などについて理解する。	GIGAスクール構想の目的や背景について改めて理解することで、何のために、何を目指してICTを活用していくのか共通理解を図る。			資料1 資料2
第2回	StuDX Styleを実際に見て、掲載されている内容の全体像をつかみ、ICT活用のイメージをもつ。	StuDX Styleの資料やウェブサイトを見て、印象に残った内容や想像した活用場面などについて交流する。			資料3
第3回	StuDX Styleの掲載事例を参考にして活用の第一歩を踏み出す機会とする。	「慣れる・つながる活用事例一覧」等の資料から、実践できそうな事例を選び、学校や子供の実態に合わせて実践の見通しをもつ。			資料4 資料5
第4回	授業等におけるICT活用について、各自が実践につなげるようにイメージをつかむ。	授業等におけるICT活用についてのイメージをつかむために、StuDX Styleのウェブサイトや掲載資料を参考にして、気付き等を共有する。			資料6
第5回	各自の実践事例を持ち寄って互いに交流し、よりよいICT活用の仕方を見出す。	これまで実践してきた研修をもとに各自の実践を共有し、さらに今後のICT活用につなげていく。			資料1